

作成年月日	平成24年10月15日
作成部局課室名	企画県民部広報課広聴室

県民モニター「第2回アンケート調査」結果概要

1 調査概要

- 調査テーマ：「地域安全まちづくりの推進について」
- 調査対象者：県民モニター2,056人
- 調査期間：平成24年8月23日(木)
～9月6日(木)[15日間]
- 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- 回答者数：1,293人(回答率62.9%)
- 自由意見欄：回答者の35.3%が記載

<参考 - 対象者及び回答者属性>

		対象者	回答者	回答率
総数		2,056	1,293	62.9%
性別	男性	1,116	743	66.6%
	女性	940	550	58.5%
年代別	10～20代	181	73	40.3%
	30代	351	186	53.0%
	40代	400	226	56.5%
	50代	343	237	69.1%
	60代	478	348	72.8%
	70代以上	303	223	73.6%

2 調査結果の概観

項目	アンケート結果(主な意見)	結果の考察																																												
住んでいる地域の最近の治安状況	<p>「良くなっている」:24.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> 良くなっている (5.7%) どちらかといえば良くなっている(18.3%) <p>「どちらとも言えない」:48.7%</p> <p>「悪くなっている」:27.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> 悪くなっている (24.0%) どちらかといえば悪くなっている(3.3%) 	<p>治安が良くなっているという割合と、悪くなっているという割合は拮抗しているが、悪くなっているとする割合が若干多い。</p> <p>平成24年上半期の兵庫県の刑法犯認知件数は、対前年比で3%増となっており、より一層、地域安全まちづくり活動等に取り組んでいく必要がある。</p>																																												
犯罪被害への不安	<p>「不安を感じる」:55.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> 不安である (7.7%) やや不安である(47.6%) <p>【不安に感じる理由】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モラルの低下</td> <td>52.9%</td> </tr> <tr> <td>地域コミュニティの希薄化</td> <td>29.7%</td> </tr> <tr> <td>犯罪事件報道を目にするから</td> <td>24.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	割合	モラルの低下	52.9%	地域コミュニティの希薄化	29.7%	犯罪事件報道を目にするから	24.2%	<p>居住地域で犯罪被害にあうのではないかと不安を感じている人は、55.3%と半数を超えている。</p> <p>その理由としては、「モラルの低下」(52.9%)、「地域のコミュニティの希薄化」(29.7%)を指摘する割合が高く、規範意識の向上や地域コミュニティの再生に向けた取組を行うことが求められる。</p>																																				
区分	割合																																													
モラルの低下	52.9%																																													
地域コミュニティの希薄化	29.7%																																													
犯罪事件報道を目にするから	24.2%																																													
具体的に不安を感じる犯罪・事案	<p>【不安を感じる犯罪・事案】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き巣等侵入窃盗</td> <td>64.9%</td> </tr> <tr> <td>少年い集(たむろ)</td> <td>28.2%</td> </tr> <tr> <td>インターネット利用犯罪</td> <td>24.9%</td> </tr> <tr> <td>ひったくり</td> <td>22.5%</td> </tr> <tr> <td>わいせつ事犯・痴漢</td> <td>18.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【この3年間に身近に起こった犯罪】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き巣などの侵入窃盗</td> <td>24.6%</td> </tr> <tr> <td>自転車・オートバイ盗</td> <td>16.5%</td> </tr> <tr> <td>車上ねらい</td> <td>13.0%</td> </tr> <tr> <td>器物損壊</td> <td>9.0%</td> </tr> <tr> <td>わいせつ事犯・痴漢</td> <td>8.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【犯罪にあうかもしれないと不安を感じる場所】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>割合</th> <th>区分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路上</td> <td>71.5%</td> <td>駐車場・駐輪場</td> <td>25.1%</td> </tr> <tr> <td>繁華街</td> <td>27.1%</td> <td>自宅</td> <td>24.7%</td> </tr> <tr> <td>インターネット空間</td> <td>26.1%</td> <td>公共交通機関</td> <td>11.1%</td> </tr> <tr> <td>公園</td> <td>25.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	割合	空き巣等侵入窃盗	64.9%	少年い集(たむろ)	28.2%	インターネット利用犯罪	24.9%	ひったくり	22.5%	わいせつ事犯・痴漢	18.0%	区分	割合	空き巣などの侵入窃盗	24.6%	自転車・オートバイ盗	16.5%	車上ねらい	13.0%	器物損壊	9.0%	わいせつ事犯・痴漢	8.9%	区分	割合	区分	割合	路上	71.5%	駐車場・駐輪場	25.1%	繁華街	27.1%	自宅	24.7%	インターネット空間	26.1%	公共交通機関	11.1%	公園	25.8%			<p>不安を感じる具体的な犯罪・事案は、「空き巣等の侵入窃盗(64.9%)」が突出して高く、この3年間に身近に起こった犯罪の割合も同様に高い。</p> <p>防犯パトロールや住宅等の防犯対策などに一層努める必要がある。</p> <p>その他の不安を感じる犯罪・事案では、「少年い集(28.2%)」「インターネット利用犯罪(24.9%)」「ひったくり(22.5%)」「わいせつ事犯・痴漢(18.0%)」などの割合が高い。</p> <p>犯罪の前兆的行為や新たな犯罪、高齢者や女性に被害者の多い犯罪への対応が必要である。</p> <p>自らが犯罪にあうかもしれないと不安を感じる場所は、「路上(71.5%)」「繁華街(27.1%)」「公園(25.8%)」等の公共的空間の割合が高い。また、「インターネット空間(26.1%)」の割合も高くなっている。</p> <p>引き続き、街頭犯罪に対する対応に加え、最近増加してきているインターネット利用犯罪への対応が必要である。</p>
区分	割合																																													
空き巣等侵入窃盗	64.9%																																													
少年い集(たむろ)	28.2%																																													
インターネット利用犯罪	24.9%																																													
ひったくり	22.5%																																													
わいせつ事犯・痴漢	18.0%																																													
区分	割合																																													
空き巣などの侵入窃盗	24.6%																																													
自転車・オートバイ盗	16.5%																																													
車上ねらい	13.0%																																													
器物損壊	9.0%																																													
わいせつ事犯・痴漢	8.9%																																													
区分	割合	区分	割合																																											
路上	71.5%	駐車場・駐輪場	25.1%																																											
繁華街	27.1%	自宅	24.7%																																											
インターネット空間	26.1%	公共交通機関	11.1%																																											
公園	25.8%																																													

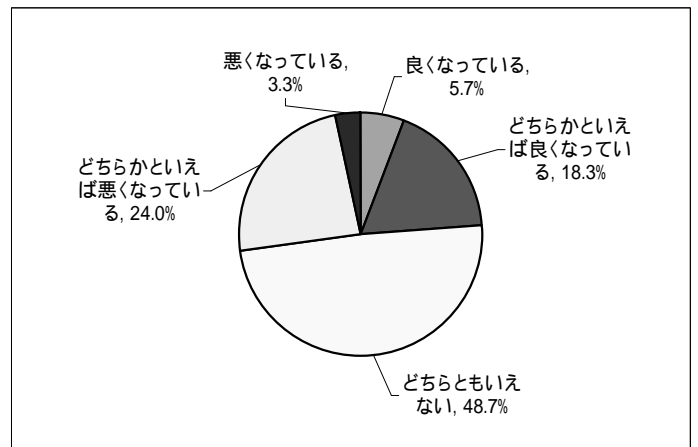
項目	アンケート結果(主な意見)				結果の考察							
地域の安全・安心確保のために必要な取組	区 分		割合		<p>「防犯に配慮した公園・道路の整備、防犯灯の設置(49.1%)」、「地域の見回りの強化(46.2%)」、「防犯カメラの設置(42.5%)」の割合が高く、公共的空間における安全・安心の確保のための取組が重要であると考える人が多い。</p> <p>防犯パトロール等の「地域見回りの強化(46.2%)」や「地域住民による自主防犯活動への支援(37.0%)」といった地域活動の取組が重要と認識されている(上記集計参照)が、実際に行われている取組の割合は「子どもの見守り活動(17.6%)」「防犯パトロール(14.2%)」となっている。</p> <p>これらの取組については、今後してみたいとする割合が高く、自主防犯組織であるまちづくり防犯グループへの参加促進や活動継続のための支援が求められる。</p> <p>地域の防犯活動に消極的な人の主な理由は、「時間がない(41.1%)」の割合が最も高いが、「一緒に参加する知人等がない(20.6%)」「取組を行うための支援(情報、ノウハウ、用品等)がない(18.3%)」とする割合も高い。</p> <p>防犯活動を促進していくためには、活動の紹介や啓発に加え、情報提供やノウハウ提供等の支援を更に行うことが必要である。</p>							
	防犯に配慮した公園・道路の整備、防犯灯の設置		49.1%									
	地域の見回りの強化		46.2%									
	防犯カメラの設置		42.5%									
	地域の犯罪・防犯情報の提供		38.2%									
	地域住民による自主防犯活動への支援		37.0%									
	防犯教育など学校教育の充実		19.6%									
自らが行う安全・安心のための取組	区 分		以前からしている	今後してみたい	したいとは思わない							
	声かけ(あいさつ)運動		49.3%	35.7%	7.9%							
	通学路での子どもの見守り活動		17.6%	44.7%	18.6%							
	防犯パトロール		14.2%	40.5%	24.2%							
	門灯の一晩中の点灯(門灯点灯運動)		42.4%	23.4%	17.5%							
	地域への防犯情報の提供		14.0%	56.1%	7.6%							
	防犯セミナー・講習会への参加		12.4%	56.5%	16.7%							
	地域周辺の安全マップの作成		7.2%	53.7%	13.2%							
<p>【声かけ運動、子どもの見守り活動、防犯パトロールをしたいと思わない理由】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間がないから</td> <td>41.1%</td> </tr> <tr> <td>一緒に参加する知人等がないから</td> <td>20.6%</td> </tr> <tr> <td>取組を行うための支援がないから</td> <td>18.3%</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	割合	時間がないから	41.1%	一緒に参加する知人等がないから	20.6%	取組を行うための支援がないから	18.3%
区 分	割合											
時間がないから	41.1%											
一緒に参加する知人等がないから	20.6%											
取組を行うための支援がないから	18.3%											
地域の防犯・犯罪情報の入手方法	区 分		割合		<p>情報入手方法は、「新聞、テレビ、ラジオ(57.5%)」「自治会回覧板(41.1%)」「地域の人(35.6%)」の割合が高い。</p> <p>マスコミからの情報入手に加え、回覧板や口コミなど、地域コミュニティからの情報入手が重要となっている。</p> <p>回覧板等の各地域における周知と携帯電話やインターネットを利用した新たな方法等を併用し、効果的な情報提供を図っていく必要がある。</p>							
	新聞、テレビ、ラジオ		57.5%									
	自治会回覧板		41.1%									
	地域の人(自治会や近所の人)		35.6%									
	県、市町、警察などの広報紙やホームページ		33.7%									
	ひょうご防犯ネット(県警からの防犯・犯罪情報メール)		29.9%									
	自治会掲示板		18.7%									

アンケート結果は、「地域安全まちづくり推進計画(第3期)策定のための基礎資料として活用する。

3 調査結果

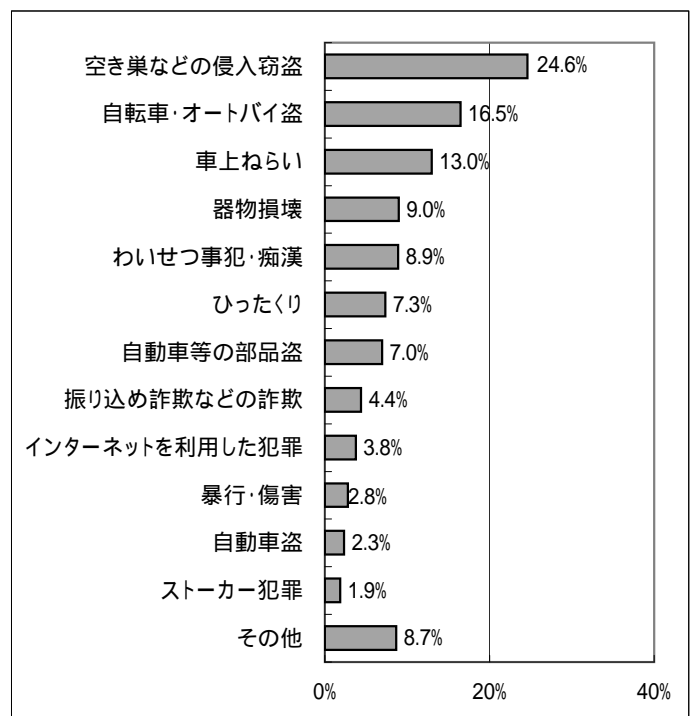
Q1 お住まいの地域における最近の治安状況について、どのように感じているか(1つ選択)

(1) 良くなっている	5.7%
(2) どちらかといえば良くなっている	18.3%
(3) どちらともいえない	48.7%
(4) どちらかといえば悪くなっている	24.0%
(5) 悪くなっている	3.3%



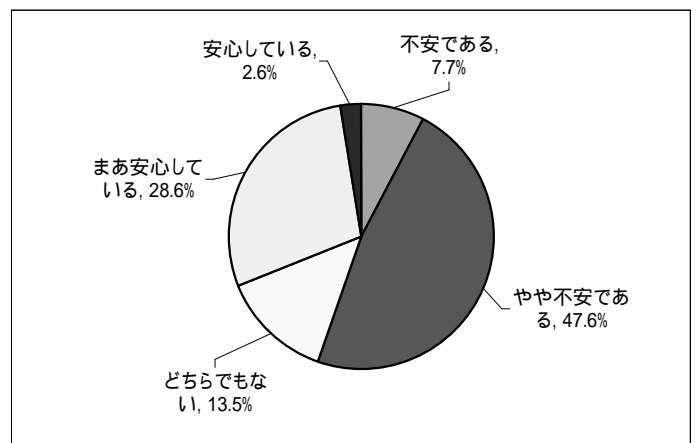
Q2 この3年間にあなたやあなたの家族、近所の方が、次のような犯罪にあったことがあるか(複数選択可)

(1) 空き巣などの侵入窃盗	24.6%
(2) 自転車・オートバイ盗	16.5%
(3) 車上ねらい	13.0%
(4) 器物損壊	9.0%
(5) わいせつ事犯・痴漢	8.9%
(6) ひったくり	7.3%
(7) 自動車等の部品盗	7.0%
(8) 振り込め詐欺などの詐欺	4.4%
(9) インターネットを利用した犯罪	3.8%
(10) 暴行・傷害	2.8%
(11) 自動車盗	2.3%
(12) ストーカー犯罪	1.9%
(13) その他	8.7%
・農産物の盗難等、自宅外での窃盗	22件
・訪問販売等の悪質商法	14件
など	112件



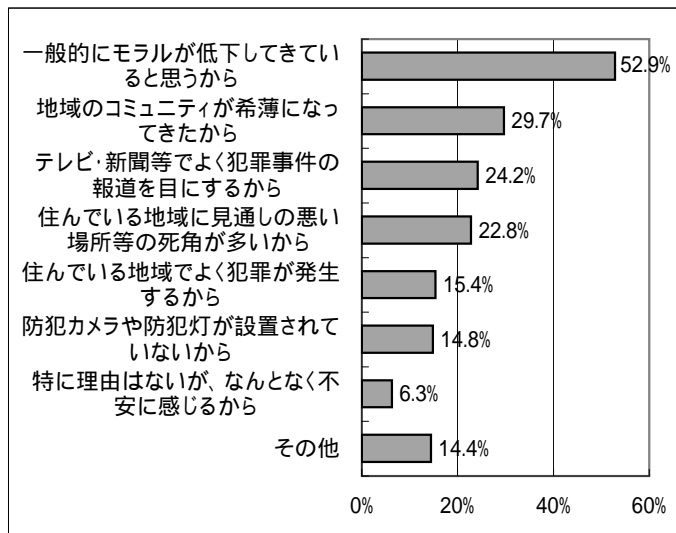
Q3 居住地域で、犯罪被害にあうのではないかと不安をどの程度感じているか(1つ選択)

(1) 不安である	7.7%
(2) やや不安である	47.6%
(3) どちらでもない	13.5%
(4) まあ安心している	28.6%
(5) 安心している	2.6%



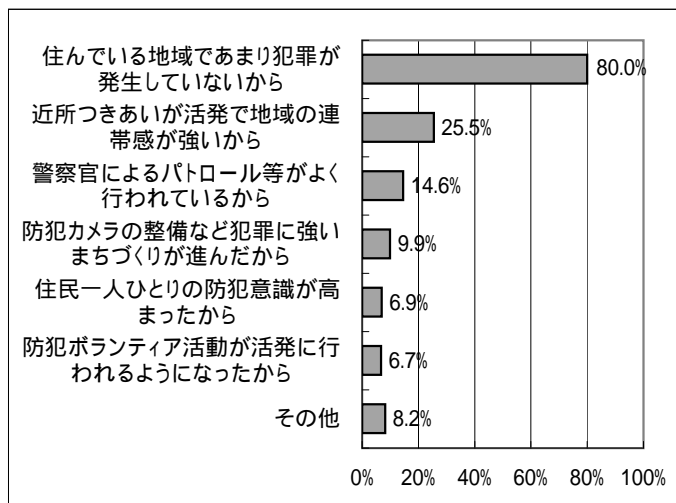
Q4 (Q3で「不安である」又は「やや不安である」と回答した715人に)その理由は(2つ選択)

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| (1) 一般的にモラルが低下してきていると思うから | 52.9% |
| (2) 地域のコミュニティが希薄になってきたから | 29.7% |
| (3) テレビ・新聞等でよく犯罪事件の報道を目にするから | 24.2% |
| (4) 住んでいる地域に暗がりや見通しの悪い場所等の死角が多いから | 22.8% |
| (5) 住んでいる地域でよく犯罪が発生するから | 15.4% |
| (6) 防犯カメラや防犯灯が設置されていないから | 14.8% |
| (7) 特に理由はないが、なんとなく不安に感じるから | 6.3% |
| (8) その他 | 14.4% |
| ・不審者等を目撃するから | 19件 |
| ・過去に犯罪にあたり、目撃したことがあるから | 13件 |
| など | 103件 |



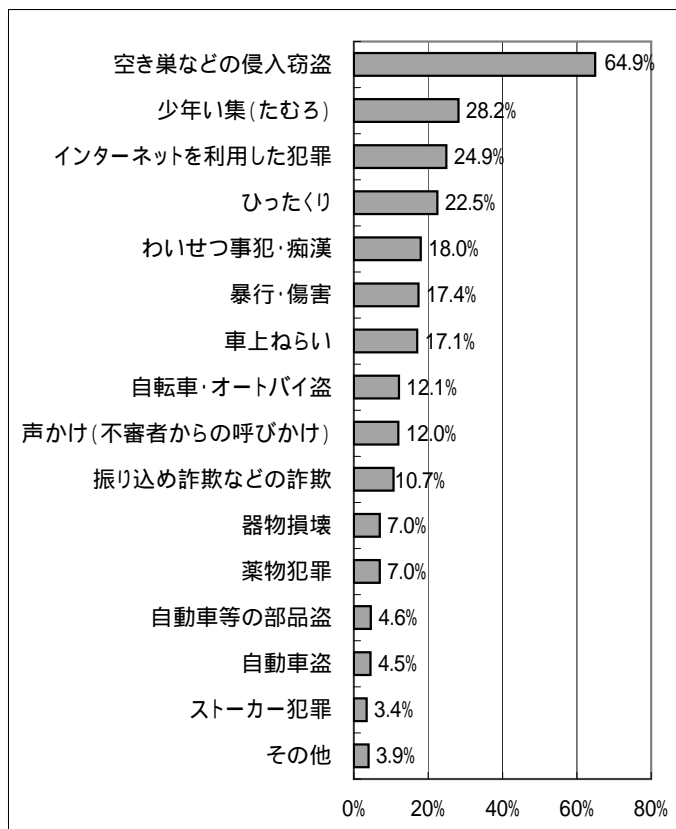
Q5 (Q3で「安心している」又は「まあ安心している」と回答した404人に)その理由は(2つ選択)

- | | |
|--|-------|
| (1) 住んでいる地域であまり犯罪が発生していないから | 80.0% |
| (2) 近所つきあいが活発で地域の連帯感が強いから | 25.5% |
| (3) 警察官によるパトロール等がよく行われているから | 14.6% |
| (4) 防犯カメラの整備や公園の見通しの確保など犯罪に強いまちづくりが進んだから | 9.9% |
| (5) 住民一人ひとりの防犯意識が高まったから | 6.9% |
| (6) 防犯ボランティア活動が活発に行われるようになったから | 6.7% |
| (7) その他 | 8.2% |
| ・防犯環境が整備されているから | 8件 |
| ・犯罪にあたり、目撃したことがないから | 6件 |
| など | 33件 |



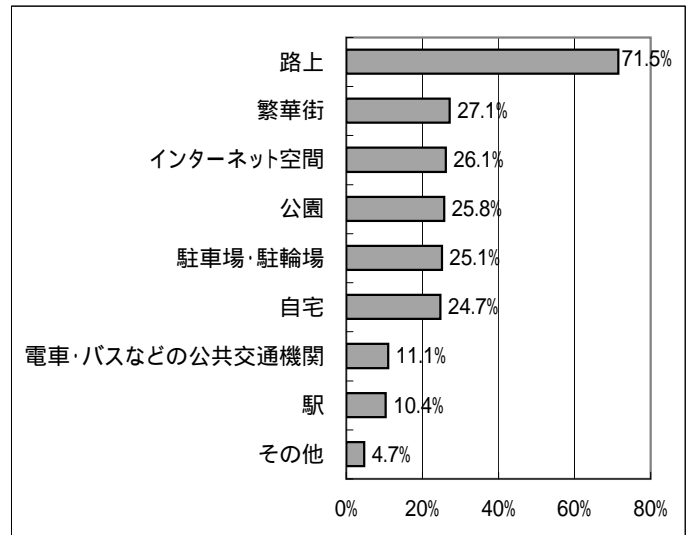
Q6 どのような犯罪・事案に不安を感じているか(3つ選択)

- | | |
|---------------------|-------|
| (1) 空き巣などの侵入窃盗 | 64.9% |
| (2) 少年い集(たむろ) | 28.2% |
| (3) インターネットを利用した犯罪 | 24.9% |
| (4) ひったくり | 22.5% |
| (5) わいせつ事犯・痴漢 | 18.0% |
| (6) 暴行・傷害 | 17.4% |
| (7) 車上ねらい | 17.1% |
| (8) 自転車・オートバイ盗 | 12.1% |
| (9) 声かけ(不審者からの呼びかけ) | 12.0% |
| (10) 振り込め詐欺などの詐欺 | 10.7% |
| (11) 器物損壊 | 7.0% |
| (12) 薬物犯罪 | 7.0% |
| (13) 自動車等の部品盗 | 4.6% |
| (14) 自動車盗 | 4.5% |
| (15) ストーカー犯罪 | 3.4% |
| (16) その他 | 3.9% |
| ・悪質商法 | 6件 |
| ・放火 | 5件 |
| など | 51件 |



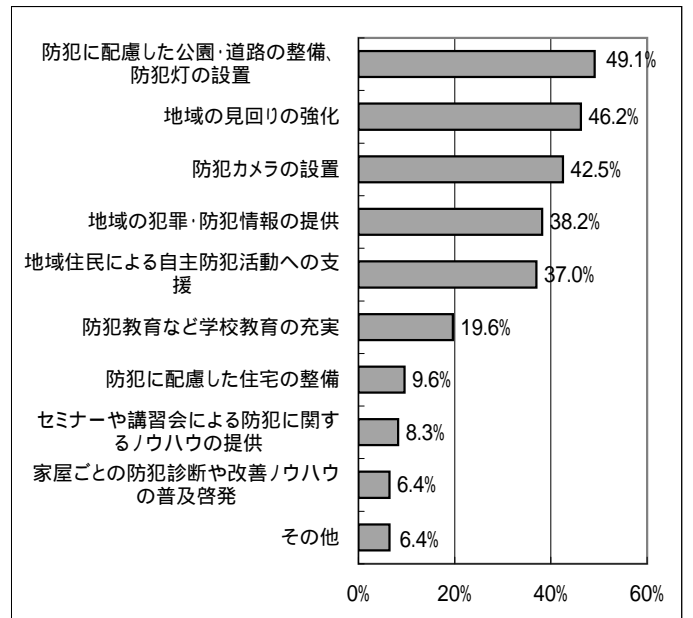
Q7 どのような場所で犯罪にあうかもしれないという不安を感じるか(3つ選択)

(1) 路上	71.5%
(2) 繁華街	27.1%
(3) インターネット空間	26.1%
(4) 公園	25.8%
(5) 駐車場・駐輪場	25.1%
(6) 自宅	24.7%
(7) 電車・バスなどの公共交通機関	11.1%
(8) 駅	10.4%
(9) その他	4.7%
・コンビニ、スーパー	14件
・夜道や人通りの少ない場所	12件
など	61件



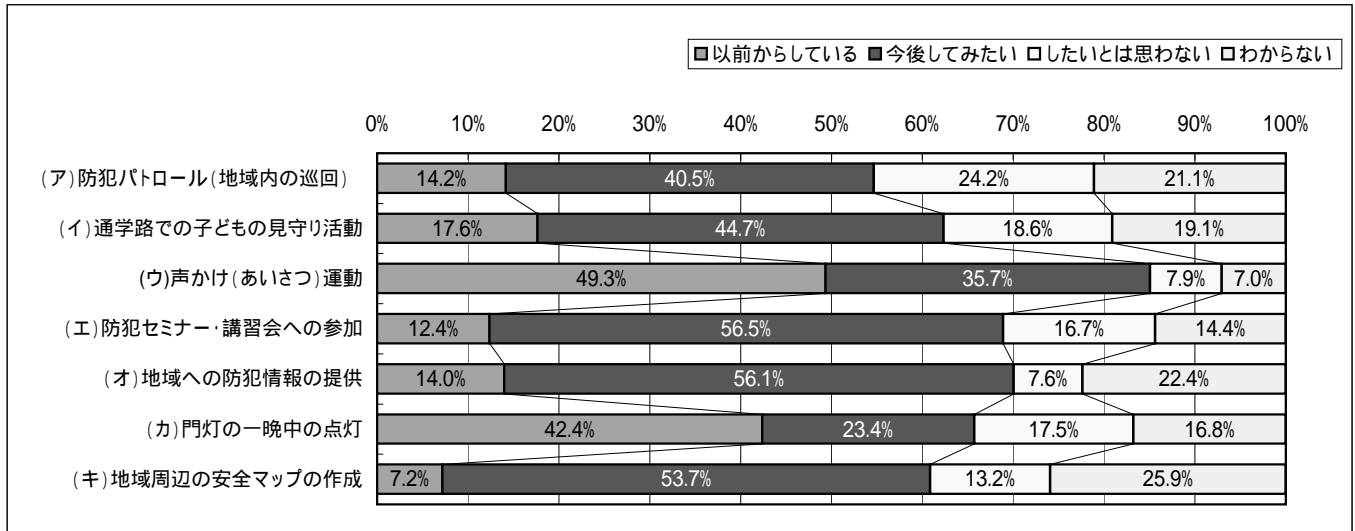
Q8 居住地の安全・安心の確保に向けて、どのような取組が大切か(3つ選択)

(1) 防犯に配慮した公園・道路の整備、防犯灯の設置	49.1%
(2) 地域の見回りの強化	46.2%
(3) 防犯カメラの設置	42.5%
(4) 地域の犯罪・防犯情報の提供	38.2%
(5) 地域住民による自主防犯活動への支援	37.0%
(6) 防犯教育など学校教育の充実	19.6%
(7) 防犯に配慮した住宅の整備	9.6%
(8) セミナーや講習会による防犯に関するノウハウの提供	8.3%
(9) 家屋ごとの防犯診断や改善ノウハウの普及啓発	6.4%
(10) その他	6.4%
・警察のパトロールや取締り強化	33件
・自治会や地域コミュニティの育成	9件
など	83件



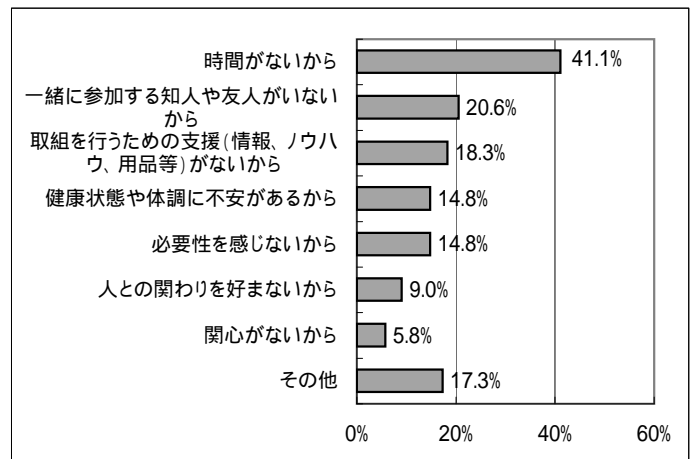
Q9 地域の安全・安心を確保するために、あなたが行う取組について(それぞれの取組について4つの選択肢から1つ選

	以前からしている	今後してみたい	したいとは思わない	わからない
(ア) 防犯パトロール(地域内の巡回)	14.2%	40.5%	24.2%	21.1%
(イ) 通学路における子どもの見守り活動	17.6%	44.7%	18.6%	19.1%
(ウ) 声かけ(あいさつ)運動	49.3%	35.7%	7.9%	7.0%
(エ) 防犯セミナー・講習会への参加	12.4%	56.5%	16.7%	14.4%
(オ) 地域への防犯情報の提供	14.0%	56.1%	7.6%	22.4%
(カ) 門灯の一晚中の点灯(門灯点灯運動)	42.4%	23.4%	17.5%	16.8%
(キ) 地域周辺の安全マップの作成	7.2%	53.7%	13.2%	25.9%



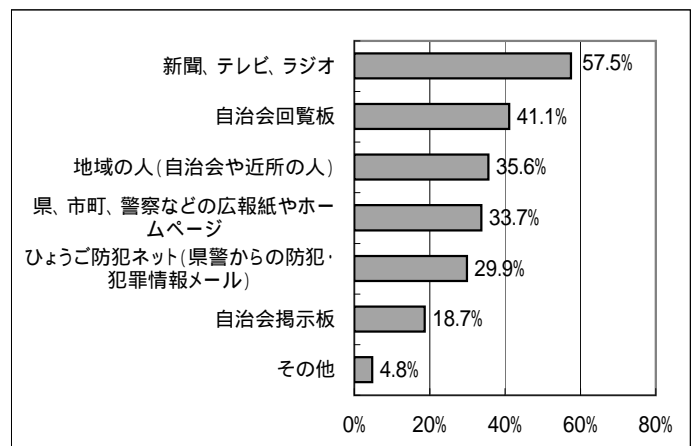
Q10 (Q9でのア、イ、ウで1つでも「したいとは思わない」と回答された方399人に)その理由は(複数選択可)

(1) 時間がないから	41.1%
(2) 一緒に参加する知人や友人がないから	20.6%
(3) 取組を行うための支援(情報、ノウハウ、用品等)がないから	18.3%
(4) 健康状態や体調に不安があるから	14.8%
(5) 必要性を感じないから	14.8%
(6) 人との関わりを好まないから	9.0%
(7) 関心がないから	5.8%
(8) その他	17.3%
・危険だから	21件
・効果が薄いと思われるから	8件
など	69件



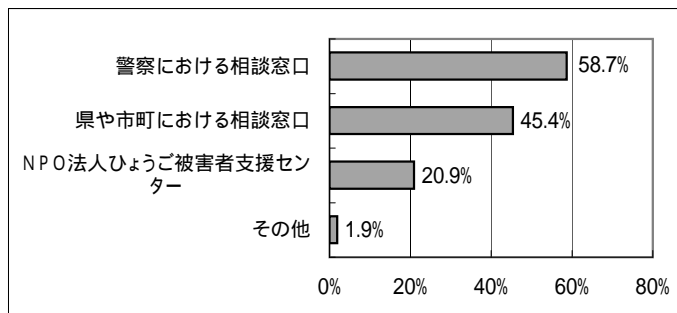
Q11 地域の防犯・犯罪情報をどこから入手しているか(複数選択可)

(1) 新聞、テレビ、ラジオ	57.5%
(2) 自治会回覧板	41.1%
(3) 地域の人(自治会や近所の人)	35.6%
(4) 県、市町、警察などの広報紙やホームページ	33.7%
(5) ひょうご防犯ネット(県警からの防犯・犯罪情報メール)	29.9%
(6) 自治会掲示板	18.7%
(7) その他	4.8%
・町内放送、交番等から	14件
・学校、保育園等	10件
など	62件



Q12 犯罪被害者等のための相談窓口で知っているものは(複数選択可)

(1) 警察における相談窓口	58.7%
(2) 県や市町における相談窓口	45.4%
(3) NPO法人ひょうご被害者支援センター	20.9%
(4) その他	1.9%
・地域の自治会や民生委員等	4件
・犯罪被害者の会	3件
など	25件



Q13 その他、地域安全まちづくりに関するご意見、ご提案等

・地域コミュニティの強化	86 件
・警察機能の強化	75 件
・防犯カメラ、防犯灯等の整備	52 件
・地域で起きた事件等の情報提供の強化	34 件
・個人の意識啓発	32 件
・防犯教育や家庭でのしつけ等、青少年の健全育成	22 件
・活動の仕組みづくり等、行政の取組の強化	17 件
・路上駐車排除や草木の剪定等、犯罪の起きにくいまちづくり	15 件
・防犯パトロールの実施	13 件
など	457 件

企画県民部広報課広聴室広聴係 (TEL078-362-3021)